
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」 第 49 号(2018. 9. 25)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 49 号をお届けします。

今回の活動組織の活動紹介では、地域一体となった活動を目指して、土地改良区、小学校、漁協が連携して生き物調査に取り組む組織と、地域住民と協働で地域資源や自然環境を維持管理する活動が評価され平成 29 年度に愛知県知事賞を受賞した組織を紹介します。

事務局からは、北海道胆振東部地震の被災地域における多面的機能支払交付金の取扱い、農村振興局フェイスブック、「連載：高度な保全活動とは？」についてお知らせします。

--- 第 49 号の目次 -----

1. 活動組織の活動紹介

☆馬^ま宮^{みや}環境保全会（埼玉県さいたま市）☆

☆西^{にし}保^ほ地域資源保全会（愛知県^{あいち}愛西市）☆

2. お知らせ～北海道胆振東部地震の被災地域における多面的機能支払交付金の取扱いについて～

3. 農村振興局フェイスブック

☆平成 30 年北海道胆振東部地震の被災地域で多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金に取り組んでいる農業者の皆様へお知らせ☆

☆立役者は女子大生！？☆

4. 高度な保全活動とは？～シリーズ 1：浄化水路による水質保全（1）～
（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～^{まみや}馬宮環境保全会(埼玉県さいたま市)～ ■

～地区概要～

埼玉県南部のさいたま市西区に位置する荒川沿いに広がる水田地帯を拠点に活動。

活動範囲は、田 71.05ha。対象施設は、水路 13.3km、農道 10.6km。

～主な取組～

- ◎本組織は、農地所有者の高齢化や離農が進む中で、非農家を含め地域一体となって協力し合う活動を目指しています。このため、本地区に在住していない土地所有者に対しても総会の決定事項や水路の草刈り・清掃の通知等を郵送して知らせることで、農地の維持管理に対する意識醸成に努めています。
- ◎また、地域の農業用施設を自分たちで維持管理しようと、経験者の指導による水路の目地・堰等の補修や水路側壁の嵩上げ工事を実施しており、水路の通水機能が向上して水管理作業の軽減に繋がっています。
- ◎さらに、地域の生態系保全に向けて、毎年7月に地元の土地改良区、小学校、漁協が連携して、用排水路に生息している生物の生息状況を把握するための「生き物調査」を実施しています。参加した小学生はタモ網を手を持って魚やザリガニ等を楽しそうに捕まえて観察しています。
- ◎これらの活動を通じて、地域の話し合いが増えてきており、農地中間管理事業の導入による農地の集積を行う話も出てきています。今後は若い担い手の参加を一層促進し、地域一体となった魅力ある農業地域を目指したいと思っております。



水路の堰の補修



水路側壁の嵩上げ工事



生き物調査

■ 1. 活動組織の活動紹介(2) ～西保^{にしほ}地域資源保全会(愛知県^{あいち}愛西市)～ ■

～地区概要～

愛知県西部の愛西市の南部に位置し、農地と住宅地が共存する西保町を拠点に活動。

活動範囲は、田 7.2ha、畑 1.8ha。対象施設は、水路 27.5km、農道 3.1km。

～主な取組～

- ◎本組織は、農道や水路等の農業用施設の点検を年度初めに行い、施設の現状と問題を確認した上で活動計画を策定します。
- ◎これに基づいて、農道法面の草刈りや水路の泥上げ等を地域住民と協働で取り組むことで、農業用施設の適切な維持管理を行うとともに、施設に対する理解が深まっています。
- ◎施設能力の維持向上・長寿命化に向けた水路の嵩上げについても、外注するのではなく、自分たちで作業研修を行い、直営施工で実施しています。
- ◎一方で、地域住民の参加意欲を持続させるために、子ども会と婦人会の協力を得てサツマイモ栽培に取り組んでいるほか、植栽活動や農業用施設周辺のゴミ拾い活動に取り組んでいます。こうした活動に加えて、環境美化の看板を作成・設置することにより、地域の景観形成の意識向上を図り、住み心地のよい住環境を創っています。
- ◎これらの活動が評価され、平成29年度の「農地・水・環境のつどい」において、愛知県知事賞を受賞しました。今後も、農家・非農家が協働で活動し、地域資源や自然環境を適切に維持管理していきます。



地域住民と協働で
水路の泥上げ



直営施工による
水路側壁の嵩上げ



環境美化の看板を設置した
啓発活動

【西保地域資源保全会 代表 佐藤 望】

■2. お知らせ～北海道胆振東部地震の被災地域における

多面的機能支払交付金の取扱いについて～ ■

この度、平成 30 年北海道胆振東部地震により厚真町を中心に道内各地で多大な被害が生じています。被災地域の皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

多面的機能支払交付金では、被災後の応急処置として、農地や水路、農道などの法面の補修や堆積した土砂・倒木の撤去などの共同活動にも取り組むことができます。

また、被害甚大な被災地においては農地周りの施設の小規模な被災箇所の補修や更新等に本交付金を重点的に活用することができますので、市町村にお問い合わせください。

○今回の地震に関する農水省の対応に関してはこちらから(農林水産省 HP)

http://www.maff.go.jp/j/saigai/zisin/180906_iburitobu/index.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■3. 農村振興局フェイスブック ■

農村振興局では、フェイスブックを通じた情報発信を行っています。今回は、農村振興局フェイスブックに掲載された多面的機能支払交付金関係の記事を 2 本紹介します。

【平成 30 年北海道胆振東部地震の被災地域で多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金に取り組んでいる農業者の皆様へお知らせ】

北海道胆振東部地震を受けて、多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金に取り組んでいる方へ、被災後の応急措置として、それぞれの交付金の活用・取扱いに関する記事を掲載しています。

○記事はこちらから!(Facebook リンク)(9 月 10 日投稿)

<https://www.facebook.com/nouson.maff/posts/2086581008260986>

【立役者は女子大生！？】

今回は、兵庫県のほぼ中央に位置する多可町^{たかちょう}で多面的機能支払交付金の活動に取り組んでいる中村農地保全協議会の紹介です。少子高齢化が進み、小学校も廃校になってしまった地区で、実は今活気を取り戻しています。その立役者とは都市部の女子大生！？ 詳しくはフェイスブックの記事をご覧ください。

○記事はこちらから！(Facebookリンク)(9月6日投稿)

<https://www.facebook.com/nouson.maff/posts/2084417351810685>



【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■4. 高度な保全活動とは？～シリーズ1:浄化水路による水質保全(1)～ ■

本記事では、多面的機能の増進を図る活動に位置付けられた「農村環境の幅広い展開」で行う高度な保全活動について、順次紹介していきます。

今回のテーマは、「浄化水路による水質保全」です。これは、水路やため池に木炭やしき等の接触材の設置や水質浄化植物であるヨシの植栽を行うことで、農業用排水の水質改善を図る活動です。

今回は、木炭による水質改善について取り上げます。

【木炭の設置】

1. 木炭の購入または、伐採木や廃材等を用いて木炭作りを行います。
2. 木炭を網袋やかごに入れ、計画に基づいて設置します。
3. 定期的に水質調査を行い、浄化効果を確認します。
4. 浄化効果がなくなり、撤去した木炭は農地へもどすことで土壌改良につながります。



木炭作り



木炭施用状況



木炭浄化の様子

【木炭の効果】

- ・木炭の表面には多くの穴（隙間）があり、空気や水が流れるときにフィルターの役目を果たします。ただし、表面に固形物が付着し隙間が狭くなると、分解速度の遅れにより、浄化作用が機能しなくなるため、木炭の交換が必要となります。



木炭の表面の拡大図

【注意事項】

- ・地域の水質の現状や改善効果を適切に把握するため、専門技術を有する者の助言を得るようにしてください。
- ・水路に流れがない場合、木炭の浄化作用が機能しませんので、流れの有無についても確認が必要です。

◎詳しくはこちら(農林水産省 HP リンク)

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H30/pdf/mokutan.pdf

■編集後記■

この度の北海道胆振東部地震により被災された地域の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。記事に掲載したとおり、多面的機能支払交付金を用いて復旧作業に取り組むことができます。被災地の一日も早い復旧をお祈りいたします。

先日、新潟県上越市の中山間地域で営農されている農家さんのもとの農業研修を受けました。研修では、明け方になすの収穫作業を行い、日暮れまで水稲の収穫・乾燥作業や草刈り等を行いました。ほぼ一日中農作業をした経験は初めてで、作物を育てるのがこんなにも大変だったのかと思い知らされました。

農作業をして特に印象に残ったのが、米の一粒も無駄にはしまいとする農家さんの心意気です。これは稲刈りの際に感じたことですが、コンバインでの収穫後に、田んぼを歩き、刈り取れなかった稲の穂を一本一本探していくのです。私たちの命を支えている食とそれをつくっている農家さんに対して感謝の気持ちを忘れてはいけないと改めて思いました。

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html



バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→

◇平成30年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どうぞ活用ください！！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、大木）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
